

## 1. 脱炭素アクション(案)の25項目に対する町民による自己点検の結果

脱炭素アクション(案)についての説明の後、参加町民には、項目ごとに、自己点検を行ってもらい、4段階での評価を行い、その結果を記してもらいました。

**A**:既に習慣になっている **B**:時々取り入れているが、継続するのは大変だ **C**:機会があれば挑戦してみたい **D**:行動に移すのは難しそう

表2 脱炭素アクション(案)自己点検結果

脱炭素アクション		説明・事例	町民からの主な意見	自己点検			
				A	B	C	D
住 ま い	1. 自宅を断熱リフォームする。	窓、外壁、天井、床等の断熱リフォームを行う。専門家のアドバイスを得て自ら断熱DIYを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>家の建て替えの際に実施した</li> <li>家の建て替えなら行すが、断熱リフォームのみは高価</li> <li>断熱リフォームの補助金制度について知りたい</li> <li>旧家で昔の建物、増築を繰り返しているため断熱リフォームをするにはハードルが高い</li> <li>集合住宅では、制約が難しそう等</li> </ul>	6	1	11	15
	2. 電球のLED化、省エネ型の家電等に切り替える。		<ul style="list-style-type: none"> <li>家電転換にはお金がかかる</li> </ul>	20	5	6	2
	3. 自宅に太陽光パネルを設置する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>最近、家に太陽光パネルを設置したが、全て施工会社が補助金などの計算もしてくれて便利だった</li> <li>太陽光パネルを設置するための設計を考えている</li> <li>太陽光パネル設置済参加者に以下質問有 *設置価格、*補助金有無、*設備耐用</li> <li>集合住宅(マンション)に住んでいるが、マンションでも設置できる方法を知りたい。等</li> </ul>	9	1	10	13
	4. 自宅の電力を再エネの契約に切り替える。	小売電気事業者が提供する「再エネ電気プラン」を選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>何の効果があるのかわからない</li> <li>集合住宅では切り替えは難しいと思いがちだが、個人が個別に再エネへ契約を切り替えることができる</li> </ul>	3	1	20	9
	5. エコライフを実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅でコンパクトな住まい方:家庭内のクールシェアで、冷暖房や照明に必要なエネルギーを減らす。</li> <li>家族が間隔を開けずに入浴し、追い炊きを減らす。</li> </ul>	エコライフ、クールシェアなど冷暖房の使い方を気をつける	7	17	4	5

	6. <u>水循環・緑</u> を利用した身近なヒートアイランド対策に取り組む。	敷地の緑化、屋上緑化、雨庭の整備、雨水浸透枳の整備により、住宅地の気温上昇を抑制する。		9	3	12	9
	7. 自宅の新築・改築において、 <u>ゼロエネルギー住宅 (ZEH)</u> に	ZEH: 高断熱化と省エネ設備、そして太陽光発電の導入により、年間のエネルギー消費量を実質的にゼロ以下にする。		2	3	10	18
消費	8. <u>ゼロウェイスト・ショッピング</u> に挑戦する。	耐久性の有る製品や、修理・交換し易い製品を購入する。		6	14	11	2
	9. <u>使いすてプラスチック製品を貰わない・使わない。</u>	マイバッグ持参、過剰包装を断る、マイボトル持参	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が持参したタッパーに商品を入れている</li> <li>水筒を持つ文化があると良い。無印良品のような給水ステーションを増やしてはどうか？</li> <li>買い物は週2回とまとめ買いを心掛けている</li> <li>プラゴミは燃焼の助けになるが、プラゴミを減らすことで逆に余計なエネルギーを必要としていないのか</li> <li>学校給食の食器をリサイクル可能なものにできないか</li> </ul>	18	10	3	2
	10. 環境マークの付いた製品等、 <u>環境負荷の小さい製品を購入する。</u>	エコマーク、グリーンマーク、間伐材マーク、省エネラベル、カーボンフットプリントが掲げられた製品等	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境マークなど気にしたこともない。</li> <li>環境マーク自体知らない人が多いのは広報不足</li> </ul>	1	12	17	3
	11. <u>旬産旬消・地産地消</u> に配慮された食材を購入する。	旬の野菜・果物を食べ、地元生産の農作物を購入	<ul style="list-style-type: none"> <li>旬産旬消、地産地消が脱炭素になるとは知らなかった</li> <li>旬産旬消のほうが身近な生活に根付いていることが多い</li> <li>地産地消(野菜や魚)が<u>身近にあり、安くて旨い</u></li> <li>地産・地消に積極的に心掛けている(無人販売利用)</li> <li>自宅で野菜栽培を行い自給自足を心掛けている</li> <li>物価高の状況下、価格が高いと地産地消は進まない等</li> </ul>	10	8	14	1
	12. <u>食品ロス</u> をゼロにする	水切りの徹底、コンポストやキエーロの導入により生ゴミの減量化、フードドライブやフードシェアリングの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品ロスはゼロにしたいが、なかなか難しい</li> <li>遠隔地へのフードドライブは、腐ったりするなどの心配</li> <li>規格外野菜を利用している(野菜栽培の肥料も含む)等</li> </ul>	13	9	9	2
	13. <u>再資源化・資源ごみの分別</u> を徹底する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>以前から実施済み</li> <li>ゴミ分別を徹底している</li> </ul>	26	7	0	0
	14. <u>衣服のリペア、リユース、リメイク、アップサイクル</u> に取り組む。	良い物は長く着たり、必要なくなった物はリユース、リメイク、アップサイクルする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>高くても良いものを購入し、直しながら使っている</li> </ul>	9	13	9	2

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・安くて新しい服のほうが良いと感じている</li> <li>・大磯町はリサイクルショップはあるが、古着屋が欲しい等</li> </ul>				
	15. <u>食事を菜食や代替品</u> に替える	肉・魚の代わりに、乳製品・卵、豆類、穀物、野菜、代替肉を食べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不味いイメージがついて回り、購入意欲が沸かない</li> <li>・代替食品を取り入れている。大豆ミートを「肉」として食べるのではなく、大豆ミートだと思って食べれば美味</li> <li>・高齢者は、健康の為、肉を食べないと</li> </ul>	1	10	13	9
移動	16. <u>エコドライブ</u> を行う。	急発進・急加速を避け、車間距離を十分に取り、不要なアイドリングを避け、不要な荷物を積まない等。		21	6	3	1
	17. <u>電気自動車(EV)</u> の利用を進める。	燃料電池車等の次世代自動車も含む。自家用車をEVに、カーシェア・レンタカーはEV	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EV自動車は価格が高い印象がある</li> <li>・大磯町にEVステーションが少ないので増やしてほしい</li> <li>・電気自動車の利用促進は本当に良いのか？</li> <li>・電気自動車だとパワーが弱く山の方では役に立たない</li> <li>・集合住宅では、充電設備の設置などの制約あり</li> <li>・維持コストの問題あり</li> <li>等</li> </ul>	2	1	12	16
	18. 町内や近隣都市等への移動には <u>鉄道・バス等公共交通機関</u> を使う。	コミュニティバスや、ライドシェアも含む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが小さいうちは車が便利</li> <li>・できるだけバス利用している</li> <li>・バスの本数が少なく車の移動が多い</li> <li>・コミュニティバスが増えれば利用する人が増えるのでは？</li> <li>・ライドシェア導入を。一人で自動車に乗るのは勿体ない。</li> <li>・大磯は買い物が不便→買い物手段・高齢者向けコミュニティバスの充実、若・中年には、ライドシェアの拡充を。</li> </ul>	12	13	5	3
	19. 日常の買物や地域内移動は <u>徒歩・自転車</u> を利用する。	シェアサイクルも含む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康面も考慮し、できるだけ歩くようにしている</li> <li>・道路に自転車レーンがあると利用できる</li> </ul>	11	13	4	5
	20. <u>テレワーク</u> や <u>オンライン会議</u> の活用で自分の移動を減らす。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク推進も業種・仕事によっては難しい(学生は学校にくるように言われるので無理)</li> <li>・自分の事情だけでは決められないこと。会社による。</li> </ul>	7	9	6	11
	21. <u>宅配サービス</u> を1回で受け取る等、物の移動を増やさないようにする。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「置き配」指定にしている(再配達防止)</li> </ul>	16	9	5	3

吸 収 源	22. <u>持続可能な森林・里山・緑地の管理</u> に参画する。	森林や里山・里地の利用・管理、森林の伐採と再生のバランス、生物多様性、地域社会との連携等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大磯町は整備された場所が多く、参画は余り考えられない</li> <li>・ 各家庭の緑を増やす。</li> <li>・ マンションやビルの屋上に緑を増やしたい</li> <li>・ ニ宮町での植林や里山再生のボランティアをしている</li> <li>・ 休耕地、未利用地を皆で使えるようになったら良い</li> <li>・ 大型の分譲販売で、緑が減少していることが気になる</li> <li>・ 庭に植栽を行う等のグリーン条例的なものがあれば協力</li> <li>・ 吸収源に対し正しい知識を付ける事が必要だと感じた</li> </ul>	2	6	18	7
	23. 薪ストーブ等、 <u>バイオマス燃料の活用</u> を進める。	間伐材等を再生可能エネルギーとして利用する。		0	2	15	<u>16</u>
	24. 建物や調度品等の <u>木材利用</u> を推進する。	住宅・家具に利用・再利用する事で炭素を長期間にわたり貯蔵することになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相当な頑張りが必要なのではないだろうか</li> </ul>	6	0	20	7
	25. 沿岸の藻場の再生等の <u>ブルーカーボン対策</u> に参画する	ブルーカーボン:沿岸の生態系が光合成でCO <sub>2</sub> を取り込む。藻場(海藻、海草)の再生等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 興味はあるが、大磯には向いていないと思う</li> <li>・ 大磯と言えば海なので、ブルーカーボンで何か行いたい がブルーカーボンの実態が良く解らない</li> <li>・ 海に面した街でブルーカーボンの取組みが何かできそう</li> </ul>	0	1	21	<u>11</u>

## 2. 脱炭素行動として町民からの追加提案

提案内容	対応
<p><u>今回の町民による脱炭素アクションに関係する提案</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「<u>枯葉</u>」の回収と腐葉土等での再利用促進が出来たら良い</li> <li>・ペットボトルを<u>水筒かビン</u>に変える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「<u>枯葉回収</u>」については、「17. 持続可能な里地・緑地の管理」の例示として取り入れる</li> <li>・「<u>水筒かビン</u>」については、「7・プラスチック製品～」の例示として取り上げられている</li> </ul>
<p><u>自治体の政策への提案</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校でゴミの種類を教えるなどの<u>環境教育</u>を</li> <li>・<u>道路で工事を繰返しは無駄</u>。エネルギーも材料も全て</li> <li>・<u>大磯町は</u>、役場などにもっとエコ的なモノ（設備やシステム、EV 車など）を、取り入れるべき</li> <li>・大磯町・平塚市での<u>焼却場計画</u>があったがどうなったか？</li> <li>・温暖化（環境）等が原因で日本各地で山火事が増加傾向。<u>山火事予防（対策）</u>はないか？</li> <li>・<u>ライトダウンキャンペーン</u>をやっては？</li> <li>・弁当などでは残飯が増えるので、<u>学校給食に</u></li> </ul>	<p>町民による脱アクションの提案というよりも、自治体政策への要望や問題提起</p>
<p><u>今後の議論への期待</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テイクアウト食品は<u>紙パックとする</u></li> <li>・<u>バイオマスプラスチックの使用</u>を増やす</li> <li>・<u>振動発電を設置</u>してみてはどうか？</li> <li>・徒歩・自転車利用を楽しくするアイデアはないか？</li> <li>・<u>NCR の未利用の工場跡地・・・メガソーラーの設置等</u></li> <li>・<u>ダイエットを脱炭素と結び付け</u>ないか</li> <li>・食事を<u>菜食に変更した地産地消購入クーポン、歩くことでポイント付与、シェアサイクル利用でポイント</u>・・・脱炭素に関連付けられないか</li> <li>・温暖化（環境）等が原因で<u>動物の出没が増加傾向</u>だが何か出来る解決方法はないか？</li> <li>・最近キャンプ場がオープンしたが、<u>脱炭素（環境）との関わりは？</u>・・・木の伐採等</li> <li>・ゴルフ場やみかん畑で使用する<u>農業は、脱炭素（環境）に良いものか？又は関係するのか？</u></li> </ul>	<p>当面の「脱炭素アクション」の中に取り入れる提案というよりも、今後の町民対話の中で意見をたたかわしていただくべき課題の提案と考えられます。</p>